

展示テーマ

来て見て味わって！

北陸の輸出産品をご紹介します



北陸農政局「消費者の部屋」

展示期間：令和6年3月1日（金）～3月28日（木）

【北陸の輸出産品をご紹介します】①

北陸の輸出産品を応援しよう！

「北陸からは、
どんな農林水産物・食品が
輸出されているのでしょうか？」

○実際に輸出されている産品の
ほんの一部をご紹介します。

○消費者の皆様に
地元の産品を
より身近に感じていただき、
北陸の輸出産品を
応援していただきたい
との思いで企画しました。

新潟から世界へ 泳ぐ宝石「錦鯉」

錦鯉発祥の地・新潟



錦鯉とは、赤・白・黒を始めとし、金、銀などの鮮やかな色彩をもつ、日本を代表する鑑賞魚です。錦鯉は、およそ200年前、新潟県長岡市と小千谷市にまたがる、二十村郷と呼ばれる山間部で生まれたとされています。豪雪地帯であるこの地域では、冬のタンパク源とするため、水田で食用の真鯉が飼育されていました。その真鯉の中から突然変異によって色のついた鯉が生まれたのが錦鯉の始まりと言われていいます。新潟県では現在でも家族単位の小規模な事業者が、棚田の池で伝統的な養殖方法を続けています。

錦鯉の品種

錦鯉といえば赤・白・黒を基調とした「御三家」と呼ばれる「紅白・大正三色・昭和三色」が有名です。長年の生産者の努力により美しい錦鯉の数々が全国で生産されるようになり、今では100を超える品種があるとされています。新潟県では、県としても従来にない色彩の錦鯉の開発にも取り組んでおり、2014年には、約17年もの年月をかけ、珍しい黄色系の新品種「黄白」の安定生産に成功しました。さらに、「黄白」を使った新品種開発にも積極的に取り組んでいます。新潟県の錦鯉養殖業者数は全国で最も多いため、ほとんどの品種がそろっています。新潟に行けば欲しい鯉が必ず見つかると言われ、「錦鯉の聖地」と呼ばれています。



紅白 大正三色 昭和三色 丹頂 白写り 秋翠 からし鯉 平成26年新潟生まれの新品種「黄白」

泳ぐ宝石・錦鯉



新潟の山間部に集まる海外の錦鯉愛好家

「錦」とは絹織物(着物)のことで、錦鯉の名前は鯉の鮮やかな色をとえたものです。錦鯉はその美しさから「泳ぐ宝石」や「泳ぐ芸術品」とも呼ばれ、海外の愛好家の間では「carp」ではなく、「koi」または「Nishikigoi」と呼ばれ親しまれています。錦鯉の品評会では体型や模様、色の鮮やかさを基準として評価されます。新潟県では最も歴史のある品評会が開催され、国内外から多くの錦鯉愛好家やバイヤーが訪れます。また、現在では日本国内のみならず、世界各国で品評会が開催されています。

※写真提供：(株)錦鯉出版

TOPICS

世界錦鯉サミット World Nishikigoi Summit



令和4年11月、錦鯉発祥の地・新潟県で世界初の「世界錦鯉サミット」を開催しました。21か国の駐日大使等や世界各国のバイヤーなどが参加し、錦鯉の魅力や誕生の歴史、錦鯉を通じた経済・文化の交流の更なる促進などについて共有しました。サミットの内容やアーカイブ動画は、新潟県のホームページからご覧いただけます。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/worldnishikigoisummit/>



CATCH JAPAN

NHKワールドジャパン「CATCH JAPAN」錦鯉の魅力や錦鯉発祥の地・新潟を紹介する番組を制作し、世界に向けて発信しました。アーカイブ動画はこちらからご覧いただけます。

https://bitv.com/programs/catch_japan_2019/20221223.html



【北陸の輸出産品をご紹介します】②

錦鯉とは

新潟生まれの“泳ぐ宝石”

錦鯉は、約200年前、江戸時代後期に現在の中越地方、古志郡二十村郷で生まれたと言われています。



赤白
白地に赤い模様



大正三色
白に黒い模様

豊かな自然が育んだ奇跡

山間部の冬の食料として飼育されていた真鯉が突然変異したものが起源とされています。現在も家族経営の生産者が多く、山間で昔ながらの養殖が行われています。



昭和三色
赤黒を帯びた魅力

震災を乗り越えて

2004年10月23日に発生した中越地震で、錦鯉産業は壊滅的なダメージを負いました。しかし世界中の愛好家からの支援を受け、生産者の強い意志のもと奇跡的な復興を成し遂げました。

棚田を利用した「野池」



新潟県内で約100品種を育成
発祥の地 古志郡二十村郷

※現在の長岡市、小千谷市、魚沼市の一部

錦鯉は、成長する自然美です

錦鯉は、新潟県内の錦鯉生産者が長年の歳月と情熱をかけ品種改良と品質改善の努力を積み重ね、ようやくできた世界に誇れる「成長する自然美」です。併せて「美的価値が向上する」可能性があるのが最大の魅力です。

錦鯉を通じ、世界中の業者や愛好者の方と国を越えた友情の輪が広がるのも魅力の一つです。



2014年に新潟で生まれた新品種「黄白(きじろ)」



新潟錦鯉新潟ダイレクト 大面 富士雄氏

長岡市生まれ、幼少より錦鯉のいる環境に育ち、趣味で錦鯉の飼育を始める。海外からの需要の高まりを受け、市内の養鯉業者の海外輸出サポート事業を始める。業績好調の中、中越地震に被災。事業存続の危機を乗り越え、2005年に新潟錦鯉ダイレクトを立ち上げる。



次の時代を担う若手養鯉家

新潟の中越地方で生まれ、

世界の

NISHIKI↑GO↓へ

錦鯉は大きなチャレンジです

品評会で勝てる鯉を育てるには、数多くの幼魚から大きく美しく育つ鯉を選別すること、水質や餌に気を配り徹底的な健康管理が必要です。錦鯉は生き物なので、美しい模様を保ちながら成長させるのは非常に難しいです。

錦鯉の歴史や鑑賞法、水環境、池のデザインなど学ぶべきことは多く、常にチャレンジが求められるエキサイティングな仕事です。



世界中の愛好家が集う「品評会」



外国人に人気の品種「浅黄(あさぎ)」



英国人ディーラー
リック・ストゥダート氏

母国イギリスで17年間にわたり錦鯉を飼育し、豊富な知識と経験を元に錦鯉のディーラーとして活躍中。年に5、6回は新潟を訪れ、延べ3カ月は滞在している。最盛期には錦鯉15,000匹の在庫を抱え、イギリスの愛好家たちに良質な錦鯉を供給している。

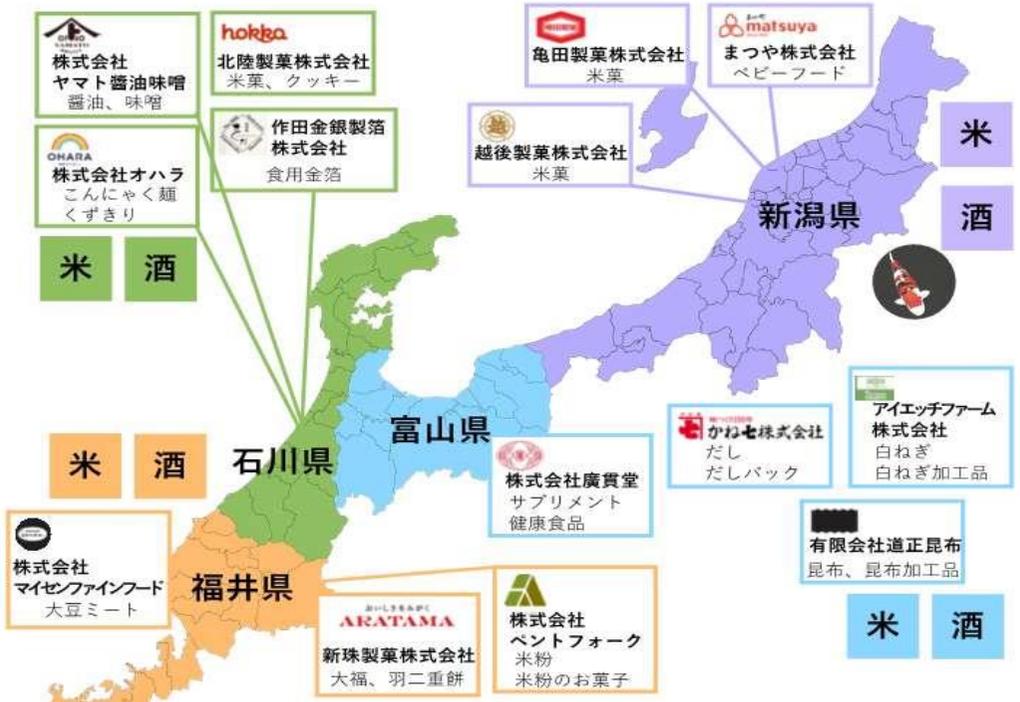


約40ヶ国へ輸出

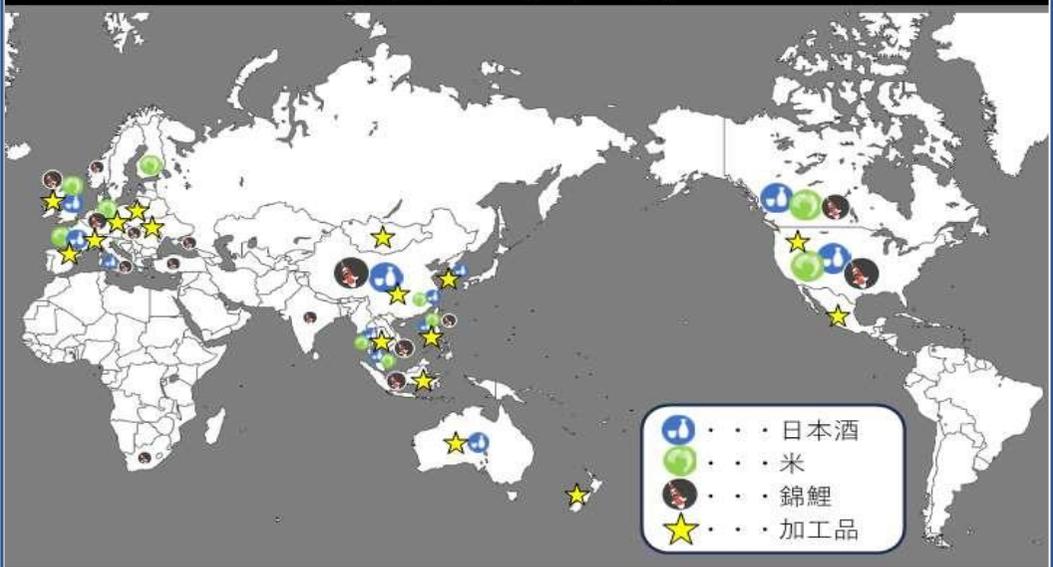


マレーシアにも多くの愛好家が

【北陸の輸出産品をご紹介します】③



北陸から世界へ



新潟県

米どころの新潟県からは、お米から作られた様々な加工食品が輸出されています。
また、「泳ぐ宝石」とも言われる錦鯉の輸出も目を引きます。



亀田製菓株式会社

主な輸出先国 米国、台湾、香港、ベトナム、タイ、韓国

1957年（昭和32年）設立の米菓会社。お米の恵みを美味しさ、健康、感動という価値に磨き上げ健やかなライフスタイルに貢献することを目指しており、主に「亀田の柿の種」等を輸出しています。



【北陸の輸出産品をご紹介します】④



越後製菓株式会社

主な輸出先国 北米、マレーシア、タイ、ドイツ、
ニュージーランド 等

1947年（昭和22年）創業の米加工の食品会社。新潟県産もち米を90%以上使用した米菓子「ふんわり名人」等を輸出しています。



まつや株式会社

主な輸出先国 ミャンマー、ベトナム、
モンゴル、香港、台湾、
シンガポール

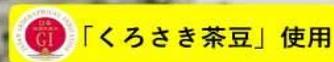
1907年（明治40年）創業の米加工の食品会社。独自の米粉製粉技術を活用し開発した「即席お粥シリーズ」等を輸出しています。



青木農場 aoki farm

主な輸出先国 シンガポールを検討中

令和5年4月に自社栽培のGI産品「くろさき茶豆」及び玄米粉を使用したグルテンフリーのバームクーヘンを開発しました。今後、シンガポールへの輸出に向けて準備を進めています。



緑川酒造株式会社

『 純米吟醸 緑川 』

輸出先国
アメリカ
韓国

低温での発酵の後、約1年ほど熟成。五百万石及び越淡麗を使用。バランスよく調和したお米の旨味と後味のキレ、ほのかな吟醸香をお楽しみください。



魚沼市



尾畑酒造株式会社

『 真野鶴 辛口吟醸 』

輸出先国
アメリカ

佐渡産の五百万石を100%使用して仕込んだ吟醸酒。優しい口当たり、マイルドなフルーツ香、ほどよい酸味があり、1回火入れによるフレッシュで爽やかな味わいでトマトを使用したサラダや魚介のカルパッチョ、ハーブを使った料理などに良く合います。



佐渡市



吉乃川株式会社

『 吟醸 極上吉乃川 』

輸出先国
アメリカ
カナダ
台湾
韓国ほか

「吟醸造」吉乃川が素材にこだわり、地元で契約栽培された五百万石100%で仕込んだ吟醸酒。爽やかな香りや透明感のある口当たりを感じる後味のキレのよりドライな逸品。
(表ラベルの金の箔部分は国内ラベルより濃くなっております。)



長岡市

新潟県 Selection



新之助

主な輸出先国
香港
台湾
アメリカ

新潟県が10年かけて開発、2018年にデビューした新品種。大粒の美しい輝きと艶、豊かな甘みと食感が魅力のお米です。



ゆきん子舞

主な輸出先国
シンガポール
タイ

美しい雪のイメージから名づけられました。食味が粘りすぎずあっさりしていることから、海外でも人気があります。



こしいぶき

主な輸出先国
シンガポール
フランス
カナダ

2001年に新潟県で誕生した早生品種。コシヒカリの美味しさを受け継ぎつつ、価格競争力もあるため、海外でも人気の品種です。

富山県

北前船の中継地としての歴史を受け継いだ企業による昆布製品や、「くすりの富山」ならではのサプリメント等の健康食品が輸出されています。



かね七株式会社

主な輸出先国 欧米、アジア等幅広に輸出
(一部間接輸出)

1884年（明治17年）創業の食品会社。「北前船」に創業のルーツがあり、主力商品のだしの素（顆粒）やだしパックを輸出しています。



廣貫堂

主な輸出先国 フィリピン、シンガポール、
韓国、中国

1876年（明治9年）創業の、「くすりの富山」を代表する製薬会社。様々な健康食品やサプリメント等を輸出しています。



有限会社道正昆布

主な輸出先国 フランス、スイス、ドイツ

1916年（大正5年）創業の昆布の老舗問屋。「北前船」に創業のルーツがあり、とろろ昆布やだし昆布等を輸出しています。



アイエッチファーム株式会社

主な輸出先国 ドイツ・フランス・英国・
シンガポール・オーストラリア

2013年（平成25年）誕生の白ねぎ作りに特化した農業法人。白ねぎを加工したおかずみそや万能たれ、ポン酢を輸出しています。



【北陸の輸出産品をご紹介します】⑥



皇国晴酒造株式会社

『 幻の瀧 純米吟醸 』

輸出先国

中国
香港
オーストラリア

日本の名水百選「黒部川扇状地湧水群 岩瀬家の清水」の名水が蔵の敷地内で自噴している日本で唯一の「名水が湧く蔵元」として有名。その水の良さを最大限に活かし、すっきりとした中にも、お米のふくよかな味わいのある純米吟醸酒です。



黒部市



富美菊酒造株式会社

『 羽根屋 純吟 煌火 』

輸出先国

韓国
台湾
香港

「普通の酒も大吟醸のような造りを」をモットーに年間通じてお酒を醸す四季醸造の蔵元です。夜空を彩る花火のような艶やかな煌きのように、海のように優しく包み込む、心に染みる味わいのお酒です。



富山市

富山県Selection

なのはな米

主な輸出先国

イギリス
フィンランド
フランス

富山市の大規模農業法人が生産する選りすぐりの米を輸出向けにパッケージにしました。コシヒカリ、みつひかり、てんこもりのラインナップがあります。

富富富

主な輸出先国

イギリス
フィンランド
ドイツ

富山県が開発した新品種の米で、2018年秋にデビューしました。冷めても美味しく、どんな料理にもあう美味しいお米です。

石川県

豊かな食文化に育まれた様々な食品が輸出されています。金沢の歴史を受け継ぐ金箔も、「食用金箔」として輸出されています。



株式会社
ヤマト醤油味噌

主な輸出先国 米国、フランス、英国、チェコ、メキシコ、オーストラリア、マレーシア、シンガポール

1911年（明治44年）、醤油の五大名産地の一つ、石川県大野町に創業。20年以上お醤油や味噌、その他糀調味料・飲料の海外輸出に取り組んでおり、なかでもお醤油は世界の一流シェフにも愛用されている。



【北陸の輸出産品をご紹介します】⑦



株式会社オハラ

主な輸出先国 香港、米国、英国、中国、台湾、タイ、シンガポール

1959年（昭和34年）創業の食品会社。こんにやく製造から始まり、1993年（平成5年）にお菓子部門に進出。フルーツくずきり等を輸出しています。



金箔金華

Gold Leaf ☆ KINKA ☆
Au 95.2% Ag 4.8%
55mm × 55mm 100sheets

作田金銀製箔株式会社
Sakuda Gold & Silver Leaf Co., Ltd.
27Higashiyama, Kanazawa, Ishikawa
Tel : 076-251-6777
www.goldleaf-sakuda.jp
Made in JAPAN



作田金銀製箔株式会社

主な輸出先国 韓国、シンガポール、米国

1919年（大正8年）創業。伝統技術により、美しくきめ細やかな金箔を製造。様々な用途の金箔を輸出しており、「食用金箔」も輸出しています。



北陸製菓株式会社

主な輸出先国 香港、ブラジル、台湾、米国

1918年（大正7年）創業。略称は北菓（ほっか。アルファベット表記はhokka）で、北陸産もち米を原料にした主力商品「ビーバー」等を輸出しています。



株式会社 車多酒造

『天狗舞 山麿仕込純米酒』



白山市

純米酒、山麿造りの代名詞とも言われる天狗舞の看板商品です。山麿仕込み特有の濃厚な香味と酸味の調和がとれた個性豊かな純米酒です。濃い山吹色は目も楽しませてくれます。

輸出先国

アメリカ
イギリス
中国



株式会社 福光屋

『加賀鳶 純米大吟醸 藍』



金沢市

契約栽培した酒米の最高峰「山田錦」のみを使用し、伝統の技で丹念に仕込んだ純米大吟醸です。華やかさ、軽快さ、キメ細かさ、旨味のふくらみ、キレの良い飲み口が特長のフルボディ大吟醸。肴との相性の良さが身上です。

輸出先国

アメリカ
フランス
香港
イタリア
シンガポール
台湾
カナダ

石川県 Selection



ひやくまん穀

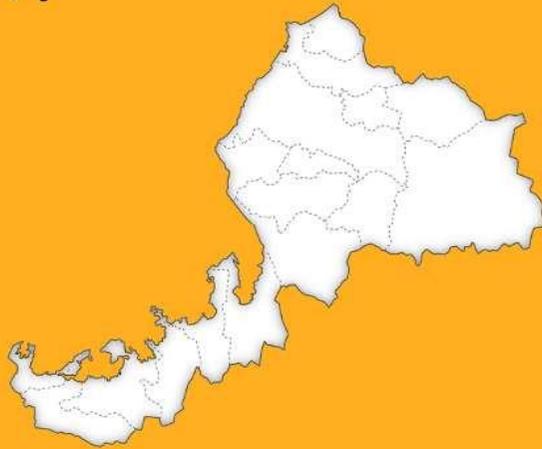
主な輸出先国

台湾

石川県オリジナルのお米で、2017年にデビューしました。ふっくら大粒、冷めてももちりとした食感と美味しさを楽しむことができます。

福井県

コシヒカリ発祥の地、福井からもお米から作られた様々な加工食品が輸出されています。大豆ミートといったユニークな商品も輸出されています。



maisen Genmei マイセンファインフード

主な輸出先国 米国、フランス

1992年（平成4年）創業の食品会社。プラント・ベース・フードを製造しており、大豆と玄米でつくったお肉のような食感の「ベジフィレ」等を輸出しています。



ペントフォーク

主な輸出先国 米国、ベトナム、台湾、シンガポール

2009年（平成21年）設立の、米を中心とした生産・加工・販売等を行う農業法人。米粉や米粉を加工したシフォンケーキ等を輸出しています。



新珠製菓

主な輸出先国 米国

1970（昭和45年）年、市内菓子業者が集い設立。羽二重餅を中心とした土産品の生産販売を開始。主力商品の羽二重餅や大福餅等を輸出しています。



鯖江市伝統野菜等栽培研究会

主な輸出先国 香港等を検討中

現在、輸出を前提として自然派メーカーと共にGI産品「吉川ナス」を使用したパスタソースの商品開発に取り組んでいます。今後の輸出拡大が期待されます。

「吉川ナス」使用



※イメージ画像

【北陸の輸出産品をご紹介します】⑨



伊藤酒造合資会社

『越の鷹 さかほまれ大吟醸』

輸出先国
台湾
シンガポール

しっかりとした米の味わいを持ちつつも、果実系の華やかな香りと軽快な味わいのあるバランスの取れた大吟醸酒です。

福井市



株式会社南部酒造場

『至極の花垣 純米大吟醸』

輸出先国
香港
中国

「名水」で有名な大野市、地下50mからくみ上げられる伏流水を仕込水に使用。上品な甘味、酸味とライチやメロンを彷彿させるフルーティな香りのお酒です。

大野市



株式会社一本義久保本店

『一本義 事無笑酒 大吟醸』

輸出先国
アメリカ
タイ
中国
オーストラリア
シンガポール

精米歩合30%という磨きをかけ、蓋麹による製麹、槽搾りなど最上の手間暇をかけた逸品。高い香りと繊細な味わいが特徴。ぜひ、ワイングラスでお召し上がりください。

勝山市

福井県Selection



輸出専用米
新品種

香港日系スーパーでの福井フェア（3月）において限定販売

シャインパール

主な輸出先国
シンガポール
香港

「大粒で白く輝く」という特徴をイメージして命名されました。輸出専用米として、多収でありながらコシヒカリ並みの良食味性を兼ね備えた新品種です。

華越前（ハナエチゼン）

主な輸出先国
シンガポール
香港
タイ

コシヒカリの粘り、甘味、旨味を引き継いだ早生品種です。あっさり、さっぱりとした少し硬めのお米なので、酢飯や丼などにおすすめです。

いちほまれ

主な輸出先国
香港

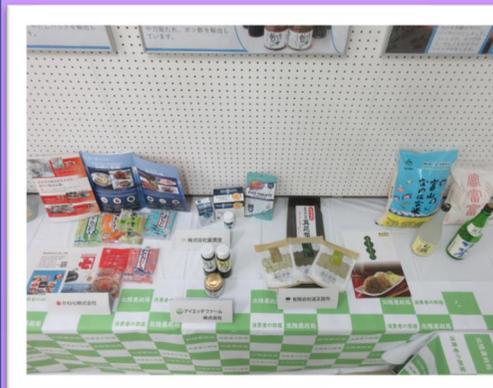
コシヒカリのふるさと、福井県から2018年に誕生したお米です。絹のような白さと艶、優しい甘さ、しっとり、ふっくらした食感が特徴です。



【新潟県の輸出産品】



【石川県の輸出産品】



【富山県の輸出産品】



【福井県の輸出産品】

【北陸の輸出産品をご紹介します】⑩

Pray for HOKURIKU!

私たちは復旧・復興、そして輸出への取組に頑張っている企業様を応援します。



能登志賀ころ柿



国の地理的表示（GI）保護制度に登録している「能登志賀ころ柿」は、JA志賀が生産し台湾、香港等に輸出もしています。

JA志賀によると、能登半島地震による農地や生産者への被害はなかったものの、ころ柿を加工する作業小屋（全部で約110軒）に倒壊や傾くなどの被害が36軒確認されています（令和6年2月7日現在）。

今後のころ柿の生産量は下がる見通しですが、引き続き輸出に取り組まれるとのことですが。

Pray for HOKURIKU!

私たちは復旧・復興、そして輸出への取組に頑張っている企業様を応援します。



魚肉練り製品

水産加工品会社の㈱スギヨ(石川県七尾市)は、主力商品のカニ風味かまぼこ等を中国、香港、台湾、東南アジア諸国に輸出してきました。販路を更に拡大するためドバイ、タイ、ベトナム、マレーシア等の海外食品展示会にも積極的に出展しており、現地の方にも寿司ネタとしてカニ風味かまぼこは人気があり、「うな蒲ちゃん」（うなぎ風味かまぼこ）、ちくわ等も好評をいただいています。



カニカマ寿司の実演

しかしながら、昨年8月の東京電力福島第1原子力発電所の処理水放出に伴い、中国は輸入を停止し、また、先日の能登半島地震によって七尾市の工場が被災したことから、生産自体へも大きな影響が出ています。

現在、6月までの完全復旧に向けて尽力されています。

頑張れ、能登！応援しています！



ベトナム展示会

【北陸の輸出産品をご紹介します】⑪

2023年の農林水産物・食品 輸出額（1 - 12月）品目別

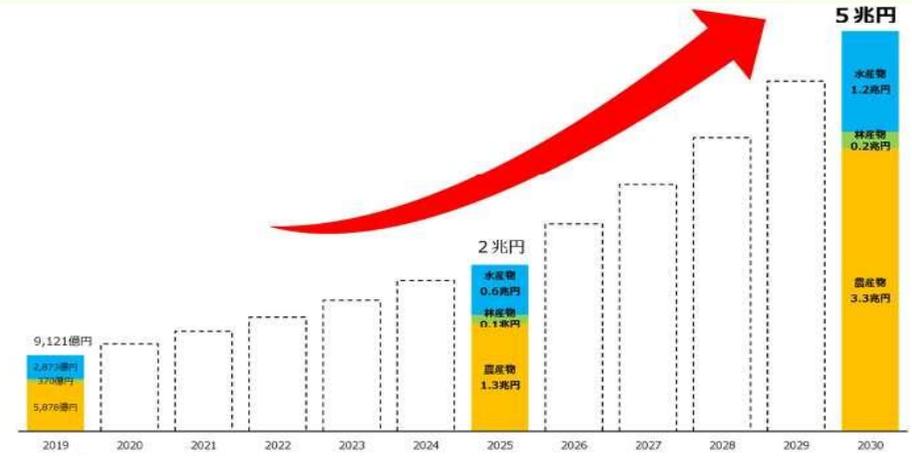
| 品目 | 金額 (百万円) | 前年同期比 (%) |
|---------------|----------------|--------------|
| 加工食品 | 510,341 | +1.0 |
| アルコール飲料 | 134,958 | ▲ 3.0 |
| 日本酒 | 41,082 | ▲ 13.5 |
| ウイスキー | 50,120 | ▲ 10.6 |
| 焼酎（泡盛を含む） | 1,641 | ▲ 24.4 |
| ソース混合調味料 | 54,355 | +12.4 |
| 清涼飲料水 | 53,670 | +11.3 |
| 菓子（米菓を除く） | 30,731 | +9.8 |
| 醤油 | 10,048 | +6.9 |
| 米菓（あられ・せんべい） | 6,098 | +10.8 |
| 味噌 | 5,067 | ▲ 0.2 |
| 畜産物 | 132,138 | +4.2 |
| 畜産物 | 100,826 | +4.1 |
| 牛肉 | 57,821 | +11.2 |
| 牛乳・乳製品 | 30,789 | ▲ 3.6 |
| 鶏卵 | 6,987 | ▲ 18.2 |
| 豚肉 | 2,673 | +14.9 |
| 鶏肉 | 2,557 | +27.6 |
| 穀物等 | 66,735 | +6.5 |
| 米（援助米除く） | 9,411 | +27.5 |
| 野菜・果実等 | 67,093 | ▲ 1.2 |
| 青果物 | 44,445 | ▲ 4.8 |
| りんご | 16,709 | ▲ 10.7 |
| いちご | 6,163 | +17.6 |
| ぶどう | 5,169 | ▲ 4.1 |
| なげいも | 3,371 | +25.3 |
| かんしょ | 2,898 | +3.9 |
| いち | 2,609 | ▲ 10.0 |
| かんきつ | 1,329 | +4.7 |
| なし | 1,191 | ▲ 11.5 |
| かき | 1,105 | ▲ 7.0 |

| 品目 | 金額 (百万円) | 前年同期比 (%) |
|-------------------|----------------|--------------|
| その他農産物 | 130,142 | +5.3 |
| たばこ | 18,073 | +42.2 |
| 緑茶 | 29,186 | +33.3 |
| 花き | 8,130 | ▲ 11.1 |
| 植木等 | 6,225 | ▲ 15.7 |
| 切花 | 1,707 | +12.8 |
| 林産物 | 62,065 | ▲ 2.7 |
| 丸太 | 23,108 | +12.4 |
| 合板 | 9,824 | ▲ 11.1 |
| 木製家具 | 7,342 | +6.6 |
| 製材 | 6,475 | ▲ 29.5 |
| 水産物（調製品除く） | 300,717 | +0.1 |
| 水産物 | 68,871 | ▲ 24.4 |
| 真珠（天然・養殖） | 45,596 | +92.0 |
| ぶり | 41,750 | +15.2 |
| かつお・まぐろ類 | 22,661 | +27.0 |
| さば | 12,182 | ▲ 35.2 |
| いわし | 9,889 | ▲ 15.0 |
| さけ・ます | 6,758 | +1.3 |
| 鯉鱒 | 6,663 | +5.7 |
| たい | 6,591 | ▲ 11.8 |
| すけとうたら | 1,798 | ▲ 41.3 |
| さんま | 233 | ▲ 18.4 |
| 水産調製品 | 89,346 | +2.8 |
| ホタテ貝（調製） | 20,996 | +24.9 |
| なまこ（調製） | 16,936 | ▲ 8.0 |
| 練り製品 | 10,429 | ▲ 15.0 |
| 貝柱調製品 | 405 | ▲ 89.6 |

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
※「牛肉」、「豚肉」、「鶏卵」、「かんしょ」、「かき」の金額、前年同期比はそれぞれの加工品を含む。

日本産農林水産物・食品の輸出目標額

農林水産物・食品の輸出額を、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とするため、政府を挙げて取り組んでいます。



※少額貨物（1ロット20万円以下）を新たに輸出額のカウントに追加

農林水産物・食品の輸出に向けた北陸農政局の取組（寄り添い支援）

- 北陸農政局では、輸出に取り組む事業者の拡大を目指し、**意欲的に農林水産物・食品の輸出に取り組もうとする事業者等を対象**に寄り添い支援を実施しています。
- 寄り添い支援とは、北陸農政局職員と貿易実務等に詳しい専門家（輸出産地サポーター）が事業者を訪問し、現状や課題等を聴取のうえ、助言や課題に応じた農林水産省、その他関係機関の支援策の活用等により、輸出を実現しようとする取組です。

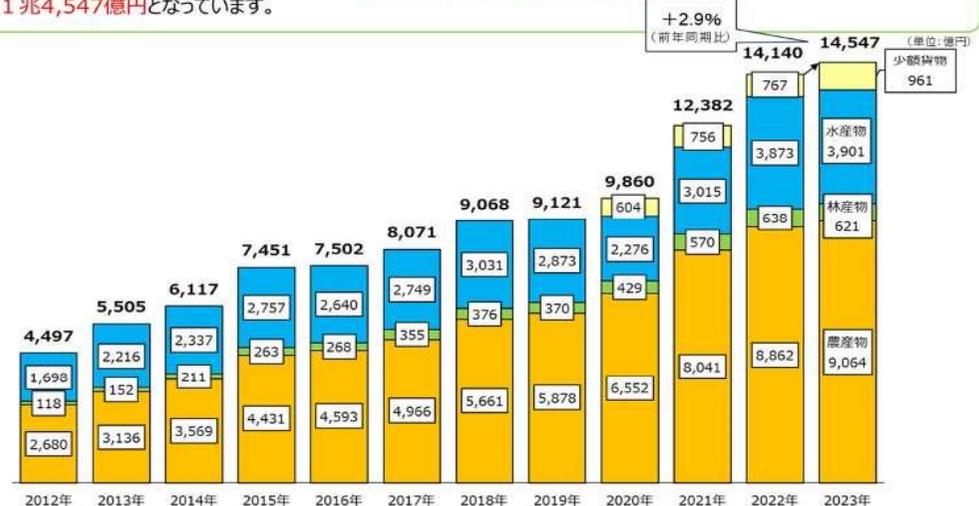


（寄り添い支援の様子）



日本産農林水産物・食品の輸出の推移

2023年の農林水産物・食品の輸出額は、11年連続で過去最高を更新する前年比407億円増（2.9%増）の1兆4,547億円となっています。



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

【能登半島地震の被災現場で活動する農政局職員】

能登半島地震の被災現場で活動する農政局職員
～危険箇所を調査せよ～



能登半島地震の被災現場で活動する農政局職員
～支援物資を急げ～



～被災者の声を聴け～

